

株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)
発行：編集委員会
印刷：小野印刷
■ 第 185 号 ■

民医連の一員として

藤代薬局 薬局長 木村 匡宏

2月22日(木)～24日(土)の3日間、沖縄で行われた全日本民主医療機関連合会第46定期総会に参加してきました。沖縄へ滞在中、青森では雪が降っているというニュースを見ていましたが沖縄は毎日25℃を超える状況で汗だくになりながら過ごしていました。

総会の中では全国各地から様々な取り組みが報告されました。震災を受けた地域での取り組み、コロナ禍での取り組み、非正規滞在外国人の受療権を守る取り組み、PFAS(有機フッ素化合物)汚染への取り組み、無料低額診療事業への取り組み

など多くの社会問題へ正面から立ち向かっている様子が報告されました。

1日目の夕方には『沖縄民医連の医療活動』米軍占領下の医療状況と民医連建設の歩み』という題で沖縄民医連会長や沖縄医療生活協同組合理事長を歴任された仲西常雄氏を講師に記念講演が行われました。記念講演では国策に翻弄されてきた、これまでの沖縄、政治的・市民的自由の抑圧、米軍による支配と搾取、島ぐるみの闘いなど沖縄の壮絶な歴史について語られました。米軍占領下の軍事優先の医療行政から日本への政権返還後の住民の医療要求の高まりと沖縄医療生活協同組合結成、その後の県連機能の確立と発展までもお話しされました。新自由主義によってもたらされた競争や自己責任だけでは人は生きていけないこと、わたしたちの立ち位置を明確にし、政治革新のうねりを作っていくこと、強調されています。



青森民医連の参加者の皆さんと

「勝つこと

はあきらめないこと あわてずぶれず あきらめず 国民の良識と 仲間を信じて」という最後のメッセージがとても印象的でした。

総会全体を通して民医連の連帯の強さをはっきりと感じました。石川の震災、秋田、熊本

の災害時など全国から仲間が助けに来てくれたという声を数多く聞くことができました。また有事の際に多くの人の命や人権が脅かされること、それを守る当事者である医療者は有事を起こさせないように発信することが必要であるということを確認しました。

多くの社会問題や地域課題に全国各地で真正面から向き合ってきた民医連事業所は、もはや地域にとつて「あつて良かった」ではなく「無くてはならない」存在であると発言している方がいました。私も民医連の一員として、「無くてはならない」民医連の事業所を守り発展させていくように努め、ありたい姿と民医連綱領が繋がっていくような実践を積み重ねていこうと思います。

核兵器のない世界を願って

藤代薬局 三上 菜美

2月28日(水)～3月1日(金)の3日間に渡り静岡県静岡市で「被災70年2024年3.1ビギナー」が開催され、私は2月29日の全体集いにZOOMで参加しました。全国からも多くの方が参加されました(会場700人、オンライン241スポット)。日本原水協の方や海外代表の方など様々な方からメッセージがあり、その中で印象に残ったのは、歴史家ハワード・ジンの「真実の歴史を知ることなしには私たちは自由になれない」という言葉でした。過去の真実に目を向け同じ過ちを繰り返さないことが大事だと感じました。

核兵器禁止条約第2回締約国会議に参加した国会議員と青年との対話では、唯一の被爆国である日本の参加がないのは不思議であり、会議にはNATO加盟国のアメリカですらオプザバー参加をしている、またドイツも現段階では署名はできないが被害者救済に向けて参加していると話され、日本が核抑止力の呪縛から抜け出し条約に参加するには、関係国との対話

中長期視点で捉える必要利益の重要性

ファルマ弘前薬局 事務長 工藤 敏子

2月17日(土)に「全日本民主医療機関法人経営学習会」がオンラインで開催され、全国から121名の参加がありました。まずは、協働公認会計士

共同事務所、公認会計士の千葉氏より「中長期視点で捉える必要利益の重要性」と題して学習講演がありました。コロナ禍による影響で民医連経営は危機にあるとされている中で、必要利益や中長期経営計画の意義

を推進することだと感じました。来年開催される第3回締約国会議に日本を参加させ核兵器のない世界、東アジアの非核平和の実現へ向けて70年前の原水爆禁止署名運動を上回る運動をしていく必要があると感じました。



ZOOMで参加した三上さん

と策定方法をわかり易く説明していただきました。医療情勢がますます厳しくなっていく中で、中長期の必要利益を明確にし、経営構造転換論議に繋げていくことが重要であると強調されていました。

後半は分散会となり、全国の方々と経営課題やそれに立ち向かう中長期計画の必要性を確認しながら、調剤報酬改定や薬価ダウンによる経営に与える影響などを共有し、とても有意義な時間となりました。

経営を中長期の視点で客観的な数値として可視化し、内部努力で生み出す事業キャッシュフローを全員の共通認識とし、経営に関わっていただくことが重要だと感じました。

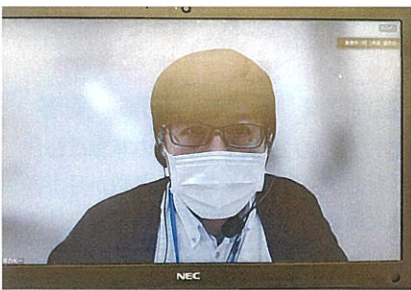
写真紹介

2/3 社福花へ出前講座

2月3日(土)社会福祉法人花主催の出前講座が「人材教育」をテーマに日中サービス支援型共同生活事業所花の郷で開催されました。講師は本部の崎野専務でした。参加者は18名で、仕事に対する目的意識の向上や組織に対する帰属意識を高めることについて講義しました。



スライドを使い講義をしている崎野専務



発表している葛西課長補佐

震災から13年経った今でも……

ファルマ浪岡薬局 薬剤師 平尾 悟

2月3日(土) 北海道・東北地協1年目・2年目薬剤師研修会がWEBで開催され、ふくしま復興共同センター代表委員の野木英雄氏から、福島復興の現状とALPS処理水の海洋放出問題についてお話を聴きました。講演を受け、原発事故の被害は何世代にもわたって影響を及ぼすということ、廃炉をどのように進めるか、汚染水・土壌の最終処理をどうするか等、震災から13年経った今でも問題は山積みであるということと理解しました。また、双葉町や浪江町などの7市町村はいまだに帰還困難区

域のままであり、居住率や漁業の産出額は原発事故前の水準にはまだまだ戻っていません。このような、人から暮らしを奪ってしまいう原発を再稼働してよいのか、もう一度深く考え直す必要があるのではないかと思います。

更に、ALPS処理水の海洋放出問題について、国と東京電力は2015年に福島県漁業協同組合連合会との間で「関係者の理解なしに、いかなる処分も行わない」という約束を結んでいましたが、2023年には住民の反対があつたにも関

わらず、海洋放出を行っています。このような、住民の意見を無視した処理の進め方は許されるものではなく、今後、汚染水・土壌の処理方法や廃炉の形について、国民が納得できるような形で話し合いを進めていく必要があると思います。



1・2年目の仲間と一緒にZOOMで講義を受けました

創意工夫のOTC売り場

ファルマ弘前薬局 乗田沙緒莉

2月16日(金) ファルマ弘前薬局を本会場としZOOMで各薬局とつなぎ「社内高度医療機器伝達講習会」が開催されました。

前半は、弘前調剤センターの津川薬剤師から高度医療機器の講習会を受講し、今までと変わった点や高度医療機器を販売する上で気を付けなければいけない点について学習しました。

後半は、各薬局のOTCの売り場紹介を行い、限

られたスペースにOTC商品をどのように陳列しているか、手に取りやすいように工夫している点やおすすり商品の試飲を行っていることなどが紹介されました。

商品の陳列の仕方やポップで紹介することで、まずはOTC商品を知ってもらえるよ



各薬局のOTCの売り場交流をしました

う各薬局で工夫し、販売につなげられるよう努力していることが感じられました。

みんなで考える私たちの介護保険

黒石薬局 津川なつみ

2月3日(土) 弘前文化センターにて弘前市の介護保険を良くする会主催の市民フォーラムが開催され、第一部の講義に参加しました。講師は弘前市の介護保険を良くする会の幹事でもある居宅介護支援事業所ファルマの伊勢主任で、介護報酬改定に伴い今後どのように変化していくのかを話しました。

人手不足や給与が低いなど、様々な背景が要因となり小規模事業所を中心に介護事業者が撤退しているのはとても大きな問題であると再認識しました。さらに物価高により8月から施設の利用料(居住費)が値上げとな



質問もたくさんありました(左奥:伊勢主任)

り、利用者の負担が増加します。

お金の心配をせずに誰もが平等に利用できることを望みますが、介護従事者の待遇など一刻も早く改善されるよう、国に働きかける活動を続けたいと思います。

新入職員紹介



ファルマ弘前 大川 雅子

2月1日(木) よりファルマ弘前薬局で勤務しております、大川雅子です。私は昨年まで、農業、接客業の仕事をしていました。そして、10年ほど前には、調剤薬局で調剤助手や患者様への応対、お薬の配達などをしていました。その中で、

人と人とのふれあいや、様々な方々と協力し合いながら仕事を進めていくということが、とても大事なことだと実感しました。ファルマに入社し、私にとって未経験な仕事もたくさんありますが、職場の先輩方が明るく接してくださるおかげで、自分自身の不安な心に負けないように頑張っていました。一日でも早く先輩方のお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。

写真紹介

2/13 浪岡野沢公民館へ 出前講座

2月13日(火) 青森市浪岡野沢公民館にて同主催の出前講座が「眠くなる話」をテーマに開催されました。講師はファルマ浪岡薬局の高橋薬局長で、睡眠や不眠症・生活習慣の乱れなどについて話しました。



睡眠について講義した高橋薬局長

2/18 津軽保健生協 五所川原支部へ出前講座

2月18日(日) 津軽保健生協五所川原支部主催の出前講座が「介護保険法制度について」をテーマに富士見荘で開催されました。講師は居宅介護支援事業所ファルマの伊勢主任でした。参加者は60名で、今後の介護保険制度の見通しや取り組むべきことについて話しました。



熱心に伊勢主任の話を聴いている参加者のみなさん

2/25・26 県連医学対大運動

2月25日(日)～26日(月)の2日間、青森県民連医学対大運動が取り組まれ、25日はファルマ弘前薬局の工藤事務長と本部の崎野専務と阿部次長、26日は本部の館田事務長が参加しました。25日は受験生一人ひとりに民医連奨学生案内パンフレットとグッズなどを渡し、26日は対話アンケートを行いました。



寒い中、受験生にチラシを渡しました!



26日に参加した館田事務長(真ん中左)

4～5才のわたし

ファルマ弘前薬局 薬剤師 熊澤 美春

わたしは犬が大好きな成年の29歳です。この写真はわたしが4～5歳の頃の写真です。先住犬が亡くなり数か月が経ち、新しい犬が家に来た時の写真です。12月21日のクリスマス前のように、とっても嬉しそうな顔をしています。名前はチロで、わたしの人生で2匹目の愛犬です。一緒に遊んで一緒に寝て、一緒に成長しました。わたしの誕生日ケーキには、愛犬の絵を描いてもらったこともありました。小さいころから犬好きなわたしは、今も2匹の愛犬と一緒に暮らしています。スマホのアルバムは犬だらけです。これからも犬と共にある人生を送れたらと思います。



当時の愛犬と一緒に嬉しそうな熊澤薬剤師